



青い鳥は何処から
〜令和2年の初めに〜

メーテル・リンクの 自分の所にも飛んでき
不滅の名作「青い鳥」。 てほしいだろう。

幸福の青い鳥はどこ 求め旅だ。

チルとミチルの夢と冒 洗礼を受けたのは昭和
険の物語、読まれた方 和40年、動機はといえ
も多いと思う。 ば先にクリスマスチャン
本当の青い鳥はどこ であつた妻や2人の娘を
に在るのだろうか? 喜ばせるためである。

新しい年の初めの「巡 如何にいい加減で
礼記」に何を書こうか あつたかはクリスマス
と考えていた時に頭を シン・ネームをつける際、
過(よぎ)つたのが「青 面倒だったので、アイ・
い鳥」である。誰もか ウ・エ・オ順に出してい
新しい年を迎えるに当 る聖人伝の最初の聖人
たり、今年こそ合わせ 「アウグスティヌス」と
な1年になるよう願う。 したことも分かる。

青い鳥が在るとすれば あれから30年以上過 自分の自立した信仰

きた今、青い鳥が飛ん
できて本気の神の言葉
に耳を傾ける。自分で
言うのもおこがましい
が、昔に比べると少し
ずつ深化しているよう
に思う。

特に昨年は教皇フラ
ンシスコの来日で、神
について考えることが
多かった。教皇の来日
は私にとつて青い鳥で
あつた。

使徒パウロのコリン
トへの手紙13章に「幼
子のように思い、幼子
のように考えていた。
成人した今、幼子のよ
うなことは棄てた」と
ある。過去にいつまで
もこだわることなく、
今をどう生きるかが、
ポイントと指摘してい
る。洗礼を受けて信仰
が成就したのではな
い。スタート・ライン
に立ったようなもので
ある。



等身大の教皇と世界記念聖堂前で

が求められ、他人と比
べるのは不幸の始まり
ではあるまいか。 フランシスコ教皇も
「私の神はカトリックの
神ではなく、イエス・キ
リストだ」と明言され
ている。

教皇が広島に來られ
た時、幟町の世界平和
記念聖堂で、宇部カ
トリック教会の片柳弘
史神父は、フランシス
コ教皇の回勅ラウダー
ト・シ(主を賛美する
とでも訳すのだから
か)について生き生き
と講演された。ラウ
ダート・シでは「大気・
海洋・河川・土壌汚染
生物の多様性の喪失、
森林破壊、砂漠化、
山積みされた廃棄物な
ど、まさに地球は危機
に直面しており、我々
の日々の生活に直結し
ているのに無頓着で
あつたことに警告を発
しておられる。

誰もが、チルチル、
ミチルになつて探し求
めれば、きつと青い鳥
を見つかることができ
ると思う。

しかし今、地球は危
機的な局面にさらされ
ている。 我々大人は、未来
を託す子供たちが安心
して生活できる地球を
取り戻す責任がある。
そうしなければ、青い
鳥を見つげるところ
か、殺してしまうこと
になりかねない。

青い鳥

メーテルリンク 作 江國香織 訳 高野文子 絵



メーテル・リンクの青い鳥